

令和4年度  
石垣市教育事務点検評価報告書  
(令和3年度事業対象)

令和4年11月  
石垣市教育委員会



## 石垣市教育事務点検評価報告書の議会への提出及び公表について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条の規定に基づき、令和 3 年度における教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価を行い、教育に関し石垣市教育委員会が認めた学識等の経験を有する者の意見を付して報告します。

### 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第 4 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。))を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## 目次

はじめに	1
1 教育委員会の活動	2
令和3年度 教育委員会活動状況一覧表	3
令和3年度 教育委員会会議開催状況一覧表	4
2 教育事務点検評価	10
令和4年度 教育事務（令和3年度事業）点検評価結果一覧表	10
奨学費	11
教育・保育環境整備事業	12
学校施設大規模改造事業	13
GIGA スクール構想推進事業	14
石垣市部活指導員配置事業	15
学ぶ意欲・わかる授業を支援する事業	16
学校・家庭・地域の連携協力推進事業	17
不登校対策等支援員配置モデル事業	18
石垣市平得公民館長寿命化事業	19
平久保のヤエヤマシタン保護増殖事業	20
平得宇部御嶽遺跡発掘調査事業	21
「市政のあゆみ（平成版）」編集・発刊事業	22
石垣市史戦後開拓移民編集・発刊事業	23
石垣市立八重山博物館収蔵倉庫建設工事事業	24
新博物館建設検討有識者会議事業	25
給食会計公会計導入事業	26
図書館充実費	27
ブックモバイル事業	28
3 外部評価委員による総評	29
<b>【資料】</b>	
令和3年度 石垣市教育委員会教育主要施策体系	31
令和3年度 石垣市教育委員会組織機構図	32
石垣市教育事務点検評価実施要綱	33

## はじめに

石垣市教育委員会では、①自ら学ぶ意欲を育て、学力向上を目指すとともに、創造性に富む幼児・児童・生徒を育成する。②平和で安らぎと活力ある社会の形成者として、郷土文化の継承・発展に寄与し、国際社会・情報社会等で活躍する心身ともに健全な市民を育成する。③学校・家庭・地域社会相互の連携及び協力のもと、時代の変化に対応し得る教育の方途を求め、生涯学習社会の実現を図る。を教育目標に教育行政を推進しています。

その目標を推進する施策として、教育委員会各課等において令和3年度に実施した事業の中から18事業を選定し、今年度の点検評価を行いました。

評価の方法は、各担当課が事業執行概要等を評価シートとして作成し、教育事務点検評価委員会にて内容等の点検及び内部評価を行い、その後、学識経験者で構成される外部評価委員会による各課ヒアリングを実施し、事業ごとに外部評価を付していただきました。

その結果、外部評価委員から18事業中17事業が計画通りに執行されているという評価を受けましたが、評価の中身においては、多くの事業で様々なご指摘とご提言をいただいています。

これらの貴重なご意見を真摯に受け止め、今後の教育行政の推進に反映させるよう努めてまいります。

この報告書は、評価の結果と教育委員会の活動状況をまとめ、議会に提出するとともに、公表することで市民への説明責任を果たし、教育行政の質の向上を図ることを目的に作成したものです。

今後とも市民の皆様の教育行政へのご理解とご協力をお願い申し上げます。

### 石垣市教育委員会教育長及び委員

職名	氏名	任期	備考
教育長	崎山 晃	自 令和4年4月1日 至 令和7年3月31日	
教育長職務代理者	金城 綾子	自 平成29年4月1日 至 令和7年3月31日	
委員	南 和秀	自 平成31年4月1日 至 令和5年3月31日	
委員	浦崎 美紀子	自 令和3年12月19日 至 令和7年12月18日	
委員	新里 裕樹	自 令和3年12月19日 至 令和7年12月18日	

### 石垣市教育事務点検評価外部評価委員

氏名	備考
新崎 洋子	元石垣市立小学校長
大得 英信	元石垣市部長

## 1 教育委員会の活動

### (1) 教育委員会の会議等の状況

石垣市教育委員会においては、教育委員会の会議を毎月1回以上開催し、事務局と連携しながら施策を推進してきました。

教育委員会の会議は、原則として毎月第4金曜日に定例会を、必要に応じて臨時会を開催しています。令和3年度は定例会12回、臨時会3回の計15回の会議を開催しました。

また、沖縄県市町村教育委員会連合会や八重山地区市町教育委員会協議会の総会・研修会等に参加し、他市町村の教育委員と意見交換を行い、教育委員会が直面する課題等について情報を共有し、教育行政について研鑽を積むことができました。

### (2) 審議状況

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第25条及び石垣市教育委員会の権限に属する事務の一部委任等に関する規則第2条の規定に基づき、計77件の議案を審議しました。

### (3) その他の活動状況

行事・大会等への参加

- ・市立小中学校入学式
- ・市立小中学校運動会・学習発表会・研究発表会等
- ・市立小中学校訪問（授業・校内視察及び意見交換）
- ・市立教育研究所入所式・研究成果報告会
- ・石垣市成人式
- ・市主催行事（市制施行記念式典）

令和3年度 教育委員会活動状況一覧表

月	会議		その他の活動
	教育委員会	その他	
4月	・定例会		・各小中学校入学式
5月	・定例会	・沖縄県市町村教育委員会連合会定期総会（書面決議）	
6月	・定例会	・市町村教育委員会連合会地区事務局長会議（WEB開催）	
7月	・定例会		
8月	・定例会		
9月	・定例会		
10月	・定例会	・沖縄県都市教育長協議会（WEB開催） ・九州都市教育長協議会（鹿児島市）【中止】	・教育研究所入所式 ・学校訪問（石垣第二中） ・学校訪問（野底小・のそこ幼）
11月	・定例会		・学校訪問（石垣小） ・学校訪問（名蔵小中）
12月	・定例会 ・臨時会		
1月	・定例会	・沖縄県都市教育長協議会（宜野湾市）（WEB開催） ・市町村教育委員会委員・教育長研修会（WEB開催）	・石垣市成人式
2月	・定例会 ・臨時会		・いしがき教育の日（講演会）
3月	・臨時会 ・定例会		・教育研究所成果報告会・修了式 ・各小中学校卒業式

令和3年度 教育委員会会議開催状況一覧表

区分	開催回数	付議件数	主な内容
定例会	12回	69件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育に関する基本的な方針に関すること。</li> <li>・規則、規程、要綱等の制定改廃に関すること。</li> <li>・教育委員会事務局、教育機関の人事 (幼稚園、小中学校含む)に関すること。</li> <li>・教育予算に関すること。</li> <li>・附属機関等の委員の任命・委嘱に関すること。</li> </ul>
臨時会	3回	8件	
計	15回	77件	

開催回数	開催日	議案番号	議案名	摘要
第1回 定例会	4月23日	議案第1号	令和3年度石垣市教育委員会教育主要施策体系の承認を求めることについて	修正のうえ承認
		議案第2号	石垣市立小中学校における発達検査実施要綱の制定について	修正可決
		議案第3号	石垣市立適応指導教室設置要綱の一部を改正する要綱について	原案可決
		議案第4号	学校施設使用に関する協定の締結について (名蔵小学校、川平小学校、新川小学校、石垣小学校、平真小学校、八島小学校及び真喜良小学校)	承認
		議案第5号	臨時代理の承認を求めることについて(委託契約に係る議案の議会提出)	承認
第2回 定例会	5月27日	議案第6号	石垣市立八重山博物館資料特別利用要綱の一部を改正する要綱について	原案可決
		議案第7号	財産の取得に係る議案の議会提出の承認を求めることについて(GIGAスクールタブレット端末等導入事業に関する備品)	承認
		議案第8号	令和3年度石垣市一般会計補正予算(第2号)案提出の承認を求めることについて	承認
		議案第9号	学校施設使用に関する協定の締結について (登野城小学校及び真喜良小学校)	承認

第2回 定例会	5月27日	議案第10号	教科用図書八重山採択地区協議会委員の選任について	2人選任
		議案第11号	石垣市文化財審議会委員の委嘱の承認を求めることについて	承認
		議案第12号	臨時代理の承認を求めることについて（石垣市社会教育委員の委嘱について）	承認
第3回 定例会	6月30日	議案第13号	令和3年度における石垣市立学校等の学期並びに休業日の特例に関する規則の制定について	原案可決
		議案第14号	石垣市立八重山博物館条例施行規則の一部を改正する規則について	原案可決
		議案第15号	石垣市児童生徒の市外派遣に関するサポート事業補助金交付要綱の制定について	原案可決
		議案第16号	石垣市立小中学校における医療的ケア指導医設置要綱の制定について	原案可決
		議案第17号	石垣市史編集委員会委員の委嘱の承認を求めることについて	承認
		議案第18号	臨時代理の承認を求めることについて（令和2年度石垣市一般会計補正予算（第13号））	承認
		議案第19号	臨時代理の承認を求めることについて（石垣市子ども・若者支援地域協議会設置要綱の一部を改正する要綱）	承認
		議案第20号	臨時代理の承認を求めることについて（石垣市立学校給食センター運営委員会委員の委嘱について）	承認
第4回 定例会	7月21日	議案第21号	石垣市立幼稚園の学級編制の特例に関する規則の一部を改正する規則について	原案可決
		議案第22号	令和4年度石垣市立幼稚園園児募集基本方針の承認を求めることについて	承認
		議案第23号	令和2年度石垣市立学校給食センター給食会計歳入・歳出決算の承認を求めることについて	承認
		議案第24号	令和3年度石垣市立学校給食センター給食会計歳入・歳出補正予算（第1号）の承認を求めることについて	承認

第4回 定例会	7月21日	議案第25号	石垣市教育事務点検評価委員会外部評価委員の委嘱の承認を求めることについて	承認
		議案第26号	臨時代理の承認を求めることについて（学校施設の使用に関する協定の締結について（富野中学校））	承認
第5回 定例会	8月30日	議案第27号	石垣市奨学基金条例施行規則等の一部を改正する規則について	原案可決
		議案第28号	令和3年度石垣市一般会計補正予算（第4号）案提出の承認を求めることについて	承認
		議案第29号	学校施設使用に関する協定の締結について（石垣中学校、石垣第二中学校、大浜中学校、白保中学校及び川平中学校）	修正のうえ承認
		議案第30号	石垣市立八重山博物館協議会委員の委嘱の承認を求めることについて	承認
		議案第31号	臨時代理の承認を求めることについて（委託契約の一部変更に係る議案の議会提出）	承認
		議案第32号	育鵬社版公民教科用図書の掲載内容による影響への対処を求める請願について	不採択
第6回 定例会	9月24日	議案第33号	石垣市立学校職員のハラスメント防止等に関する指針の承認を求めることについて	承認
		議案第34号	石垣市立学校職員ハラスメント相談員設置要綱の制定について	原案可決
		議案第35号	臨時代理の承認を求めることについて（桃原用昇奨学給付金規則の一部を改正する規則）	承認
第7回 定例会	10月20日	議案第36号	石垣市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則について	原案可決
		議案第37号	石垣市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱の承認を求めることについて	承認
第8回 定例会	11月26日	議案第38号	私立学校法人への助成に関する条例施行規則の一部を改正する規則について	原案可決
		議案第39号	学校臨時休業等支援補助事業補助金交付要綱の制定について	原案可決
		議案第40号	史跡フルスト原遺跡保存活用計画策定委員会設置要綱の制定について	修正可決

第 8 回 定例会	11 月 26 日	議案第 41 号	令和 3 年度石垣市一般会計補正予算（第 6 号）案提出の承認を求めることについて	承認
		議案第 42 号	令和 3 年度石垣市教育事務点検評価報告書（令和 2 年度事業対象）の承認を求めることについて	承認
		議案第 43 号	臨時代理の承認を求めることについて（工事請負契約の変更に伴う議案の議会提出）	承認
		議案第 44 号	臨時代理の承認を求めることについて（令和 3 年度石垣市一般会計補正予算（第 5 号））	承認
第 9 回 臨時会	12 月 1 日	議案第 45 号	令和 4 年度石垣市教育委員会人事異動方針（幼稚園教諭）の承認を求めることについて	承認
		議案第 46 号	令和 4 年度石垣市教育委員会人事異動方針の承認を求めることについて	修正のうえ承認
第 10 回 定例会	12 月 24 日	議案第 47 号	幼保連携型認定こども園の設置に対する意見について	意義なし
		議案第 48 号	石垣市立幼保連携型認定こども園条例の一部を改正する条例の議会の承認を求めることについて	承認
		議案第 49 号	石垣市医療的ケア児支援事業運営委員会設置要綱の制定について	修正可決
		議案第 50 号	石垣市立中学校部活動及びスポーツ少年団在り方検討委員会設置要綱の制定について	原案可決
		議案第 51 号	石垣市教育委員会 GIGA 端末貸与要綱の制定について	修正可決
		議案第 52 号	令和 3 年度石垣市立学校給食センター給食会計歳入・歳出補正予算（第 2 号）の承認を求めることについて	承認
第 11 回 定例会	1 月 28 日	議案第 53 号	いしがき教育の日表彰規程の一部を改正する規程について	修正可決
		議案第 54 号	臨時代理の承認を求めることについて（令和 3 年度石垣市一般会計補正予算（第 9 号））	承認
第 12 回 臨時会	2 月 18 日	議案第 55 号	令和 4 年度県費教職員（管理職を除く）人事異動内申の承認を求めることについて	承認

第12回 臨時会	2月18日	議案第56号	令和4年度県費教職員（管理職）人事異動内申の承認を求めることについて	承認
第13回 定例会	2月25日	議案第57号	石垣市教育委員会の権限に属する事務の委任及び補助執行に関する規則の一部を改正する規則について	原案可決
		議案第58号	石垣市高齢者大学設置要綱の制定について	原案可決
		議案第59号	令和4年度石垣市学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の委嘱の承認を求めることについて	承認
		議案第60号	令和3年度石垣市一般会計補正予算（第10号）案提出の承認を求めることについて	承認
		議案第61号	令和4年度石垣市一般会計予算（教育予算）案提出の承認を求めることについて	承認
第14回 臨時会	3月25日	議案第62号	石垣市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則について	原案可決
		議案第63号	令和4年度教育委員会事務局・教育機関（学校を除く）定期人事異動内示の承認を求めることについて	承認
		議案第64号	臨時代理の承認を求めることについて（令和4年度教育委員会学校関係職員（幼稚園教諭等）定期人事異動の内示）	承認
		議案第65号	臨時代理の承認を求めることについて（令和4年度教育委員会学校関係職員（幼稚園教諭を除く）定期人事異動内示）	承認
第15回 定例会	3月30日	議案第66号	令和4年度石垣市立幼稚園医、幼稚園歯科医及び幼稚園薬剤師の委嘱の承認を求めることについて	承認
		議案第67号	学校施設使用に関する協定の締結について（石垣小学校、野底小学校、伊野田小学校、新川小学校、宮良小学校及び白保小学校）	承認
		議案第68号	桃原用昇奨学給付金規則の一部を改正する規則について	原案可決
		議案第69号	桃原用昇奨学給付金奨学生選考委員会規程の一部を改正する規程について	原案可決

第 15 回 定例会	3 月 30 日	議案第 70 号	石垣市公民館設置条例施行規則の一部を改正する規則について	原案可決
		議案第 71 号	石垣市文化会館設置条例施行規則の一部を改正する規則について	原案可決
		議案第 72 号	石垣市立学校職員服務規程の一部を改正する規程について	原案可決
		議案第 73 号	石垣市不登校等対策支援員配置事業実施要綱の制定について	修正可決
		議案第 74 号	学び遊び学級実施委託要綱の一部を改正する要綱について	原案可決
		議案第 75 号	石垣市社会教育団体補助金交付要綱の制定について	原案可決
		議案第 76 号	石垣市立八重山博物館表彰規程の制定について	原案可決
		議案第 77 号	令和 4 年度石垣市立学校給食センター給食会計歳入・歳出予算の承認を求めることについて	承認

## 2 教育事務点検評価

令和4年度 教育事務（令和3年度事業）点検評価結果一覧表

番号	事業名	新規	沖振交	担当課	内部評価	外部評価	頁
1	奨学費			総務課	A	A	
2	教育・保育環境整備事業			学務課	B	B	
3	学校施設大規模改造事業			学務課	D	D	
4	GIGAスクール構想推進事業		○	学校教育課	A	A	
5	石垣市部活指導員配置事業	○		学校教育課	B	B	
6	学ぶ意欲・わかる授業を支援する事業		○	学校教育課	B	B	
7	学校・家庭・地域の連携協力推進事業		○	いきいき学び課	B	B	
8	不登校対策等支援員配置モデル事業		○	いきいき学び課	B	B	
9	石垣市平得公民館長寿命化事業	○		いきいき学び課	A	A	
10	平久保のヤエヤマシタン保護増殖事業			文化財課	A	A	
11	平得宇部御嶽遺跡発掘調査事業			文化財課	A	A	
12	「市政のあゆみ（平成版）」編集・発刊事業			市史編集課	B	B	
13	石垣市史戦後開拓移民編集・発刊事業			市史編集課	A	A	
14	石垣市立八重山博物館収蔵倉庫建設工事事業			博物館	A	A	
15	新博物館建設検討有識者会議事業			博物館	A	A	
16	給食会計公会計導入事業			学校給食センター	A	A	
17	図書館充実費			図書館	A	A	
18	ブックモバイル事業			図書館	A	A	

沖振交：沖縄振興一括交付金

評価	内部評価	外部評価
S：計画以上(101%以上)	0事業	0事業
A：計画通り(80～100%)	11事業	11事業
B：ある程度計画通り(50～79%)	6事業	6事業
C：あまりうまくいっていない(30～49%)	0事業	0事業
D：うまくいっていない(29%以下)	1事業	1事業

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】					
評価年度	令和4年度(令和3年度事業)	主管課	教育総務課		
事務事業名	奨学費(石垣市奨学給付金事業、桃原用昇奨学給付金事業及び、石垣市奨学貸付金事業)				
施策体系	主要施策	6 新しい時代を展望した教育行政の充実(教育行政の充実)			
	施策項目	(5) 奨学金制度の活用推進			
【事業概要】					
(1)対象	本市に3年以上引き続き住所を有する者の子弟(給付型奨学金のみ)で、大学、大学院、短大、専門学校及び高等専門学校への進学を希望する者かつ学費及び生活費の支弁が困難な者				
(2)目的	修学の意欲と能力を有するにもかかわらず、経済的理由により学資の支弁が困難と認められる者に対し、修学に必要な資金の給付を行うことで、将来の石垣市の発展に寄与する人材の育成を図る。				
(3)目的達成のための手段(事業内容)	(石垣市奨学給付金、桃原用昇奨学給付金) 正規の修学期間において、月額50,000円の給付を行う。なお、卒業後は就職状況等の調査に協力していただく。				
(4)成果目標	制度の積極的な広報による活用促進。また、将来において石垣市、八重山、沖縄に寄与する人材の育成。				
(5)根拠法令等	石垣市奨学給付金基金条例、石垣市奨学給付金基金条例施行規則、桃原用昇奨学基金条例、桃原用昇奨学給付金規則、石垣市奨学基金条例、石垣市奨学基金条例施行規則				
【事業実績・目標】					
令和3年度実績	決算額	11,180 千円	令和2年度実績	決算額	12,400 千円
(給付型奨学金) 石垣市奨学給付金奨学生5人(令和元年1人、令和2年2人、令和3年2人)、桃原用昇奨学給付金奨学生4人(令和元年1人、令和2年1人、令和3年2人)の計9人に奨学給付金を給付している。		石垣市奨学給付金奨学生選考委員会、桃原用昇奨学生選考委員会及び石垣市奨学貸付金奨学生選考委員会を開催し、次年度の石垣市奨学給付金奨学生として2人(申請者4人)、桃原用昇奨学給付金奨学生として1人(申請者7人)、石垣市奨学貸付金奨学生として2人の計5人を入学前に決定した。			
(貸付型奨学金) 石垣市奨学貸付金奨学生6人(平成29年度1人、平成30年度1人、令和元年1人、令和2年1人、令和3年2人)に奨学貸付金を貸付している。また、次年度より決定している奨学貸付金奨学生4人に入学一時金を貸付している。		令和4年度目標	予算額	17,080 千円	
		石垣市奨学給付金奨学生2人、桃原用昇奨学給付金奨学生1人、石垣市奨学貸付金奨学生5人の計8人に奨学金を開始している。 新規奨学生の募集を11月に予定しており、次年度新規奨学生として、石垣市奨学給付金奨学生2人、桃原用昇奨学給付金奨学生1人、石垣市奨学貸付金奨学生5人の計8人を決定予定である。 また、制度の周知を図るため、市内三高校の三年生に石垣市の奨学金制度についてのチラシを配付予定。			
【点検評価】					
区分	評価の説明				評価凡例
内部評価	【成果・課題・改善方法】 制度開始以降計画通りに奨学生に給付・貸付ができています。当該奨学生が卒業し、将来において石垣市、八重山、沖縄に寄与する人材になれるよう期待したい。 平成28年度に滞納整理マニュアル策定を行い、徴収率及び償還金額は向上の傾向にある。令和3年度はコロナ禍のため、前年度比は減少したが、平成28年度と比較すると向上している。				S:計画以上(101%以上) A:計画通り(80~100%) B:ある程度計画通り(50~79%) C:あまりうまくいっていない(30~49%) D:うまくいっていない(29%以下)
	A				
外部評価	事業が計画どおりに進められており、貸付型奨学金の徴収率や償還金額が向上傾向にあるのは喜ばしい。また、応募者数の確保に向け、金額の増額や他奨学金の併用給付を可能にするなどの改善努力もあり評価したい。				C:あまりうまくいっていない(30~49%) D:うまくいっていない(29%以下)
	A	今後は、給付目的である「将来の石垣市の発展に寄与する人材育成」の達成度等の調査や、給付型受給者の石垣市への貢献に対するモチベーション維持の方法を検討するとともに、滞納施策についても今の段階から取り組んで欲しい。			

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】							
評価年度	令和4年度(令和3年度事業)		主管課	学務課			
事務事業名	教育・保育環境整備事業						
施策体系	主要施策	6 新しい時代を展望した教育行政の充実[教育行政の充実]					
	施策項目	(2) 学校及び社会教育の施設・設備の整備充実					
【事業概要】							
(1)対象	市内学校施設						
(2)目的	施設の経年劣化、不具合等により修繕又は改修を要する校舎、屋内運動場、工作物等の学習環境に関する設備について保全し、安全・安心で良好な教育環境を確保する。						
(3)目的達成のための手段(事業内容)	一般財源等により一定規模の修繕又は改修工事について、請負契約により学習環境を確保する。 学校からの要請等に基づき、優先度をつけて修繕、改修を行う。						
(4)成果目標	市立小中学校に必要な修繕、改修工事を緊急性、安全性等を考慮し進め、児童生徒及び職員が、安全で安心して学習できる良好な環境を確保する。						
(5)根拠法令等	学校保健安全法						
【事業実績・目標】							
令和3年度実績	決算額	47,211 千円		令和2年度実績	決算額	63,033 千円	
従来の学校施設の改修、修繕に加え、教室への空調設備の故障対応が増加した。 学校からの要請に優先度をつけて対応し、一定の学習環境の確保は出来た。 ・給水設備修繕 ・排水設備修繕 ・下水設備修繕 ・受電設備改修工事 ・給電設備修繕 ・照明設備修繕 ・通信設備(電話機等)修繕 ・消防設備修繕 ・扇風機改修工事 等119件			従来の修繕に加え、特別支援教室(9教室)の大幅増があり、対応した教室、設備への整備を行った。 ・空調設備設置及び改修工事 ・普通教室改修工事 ・給水設備修繕 ・排水設備修繕 ・照明設備修繕 等111件				
			令和4年度目標	予算額	55,760 千円		
			学校施設における老朽化が進み、それに伴い要修繕箇所も増加しており、柔軟な対応が求められている。 ・空調設備設置及び改修工事 ・ブロック塀改修工事 ・給水設備修繕 ・排水設備修繕 ・照明設備修繕				
【点検評価】							
区分	評価の説明				評価凡例		
内部評価	【成果・課題・改善方法】 学校からの要請172件に対し、119件に対応した(約69%)。修繕、改修等が必要な建物、設備については、予算や対応業者の確保が困難等により十分な対応が出来ていない。今後の予算及び業者の確保が課題となっている。また、大規模な改修は国庫の補助があるが、必要とする細かな修繕や改修に対応するものがなく、一般財源で実施している。厳しい状況にあるが、学習環境向上のため取組んでいきたい。				S:計画以上(101%以上) A:計画通り(80~100%) B:ある程度計画通り(50~79%) C:あまりうまくいっていない(30~49%) D:うまくいっていない(29%以下)		
	B						
外部評価	予算や対応業者の確保に苦慮しながら事業を推進していることが窺える。 本土と離島小島では台風襲来後の塩害被害に大きな違いがあり、老朽化が進みやすい現状もあることから、塩害係数を考慮した交付金制度を国・県に要望するなど、島嶼の特殊性を考慮した予算付けの方策を訴えてもらいたい。 児童生徒の「安心・安全」に直結する事業でもあり、超党派議員連盟による学校巡回や支援力アップを図ってはどうか。						
	B						

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】								
評価年度	令和4年度(令和3年度事業)		主管課	学務課				
事務事業名	学校施設大規模改造事業							
施策体系	主要施策	6 新しい時代を展望した教育行政の充実[教育行政の充実]						
	施策項目	(2) 学校及び社会教育の施設・設備の整備充実						
【事業概要】								
(1)対象	学校施設							
(2)目的	学校施設の大規模改修を行い、空調設備設置等の安心・安全な学習環境を確保する。							
(3)目的達成のための手段(事業内容)	学校施設環境改善交付金事業等を活用し学校施設の学習環境の向上を図る。							
(4)成果目標	学校施設の空調設備設置率の上昇(空調設置率現在85%)							
(5)根拠法令等	学校保健安全法							
【事業実績・目標】								
令和3年度実績	決算額	0 千円		令和2年度実績	決算額	55,926 千円		
学校施設の特別教室への空調設備設置のため、学校施設の電気設備の調査、受変電設備の調査及び改修設計を行う予定であったが、設計業者との調整に時間を要したため、事業実施時期を見直し令和4年度へ繰り越した。(特別教室空調設備設置率約49%)				真喜良小学校、八島小学校の普通教室に空調設備設置を行った。 (普通教室空調設備設置率100%)				
				令和4年度目標	予算額	14,190 千円		
				学校施設の電気設備の調査、受変電設備の調査及び改修設計を行う。				
【点検評価】								
区分	評価の説明				評価凡例			
内部評価	【成果・課題・改善方法】 学校施設の特別教室への空調設備設置のため、受変電設備の調査、改修設計を行う予定であったが、令和4年度へ繰越をした。 令和4年度に調査、改修設計を行い、令和5年度からの工事施工を目指す。				S:計画以上 (101%以上) A:計画通り (80~100%) B:ある程度 計画通り (50~79%) C:あまりうまく いない (30~49%) D:うまくいって いない (29%以下)			
	D							
外部評価	コロナ禍の影響もあり、設計業者との調整に時間を要するなど、事業推進が予定通り出来なかったことは致し方ないことであると思うが、安心・安全な学習環境を確保するためにもしっかり取り組んでもらいたい。今後のスムーズな事業進捗に期待したい。							
	D							

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】									
評価年度	令和4年度(令和3年度事業)		主管課	学校教育課					
事務事業名	GIGAスクール構想推進事業								
施策体系	主要施策	2 自分の良さや可能性を伸ばし未来を切り拓く児童生徒の育成[学校教育の充実]							
	施策項目	(7) 情報教育の充実							
【事業概要】									
(1)対象	石垣市立小中学校								
(2)目的	市立小中学校において、Society5.0の新しい時代を担う人材育成を目指し、誰1人取り残すことのない個別最適化学習に向けたICT環境を整備する。								
(3)目的達成のための手段(事業内容)	市立小中学校における高速大容量のネットワーク環境の整備およびタブレット型端末を児童生徒1人1台分を整備した後、統合型校務支援システムやオンライン型学習システム、その他関連する機器等を組み合わせることによる効果的な活用と教職員の負担を軽減するための環境の実現を図る。								
(4)成果目標	①小中学校における高速大容量ネットワーク環境整備 ②児童生徒1人1台のタブレット型端末整備 ③その他関連する機器の整備								
(5)根拠法令等	GIGAスクール構想(文部科学省)								
【事業実績・目標】									
令和3年度実績	決算額	482,618 千円		令和2年度実績	決算額	167,869 千円			
市立小中学校における ①高速大容量ネットワーク環境構築 ②タブレット型端末整備 :児童生徒用5060台 教職員用455台(計5515台)				遠隔学習に備えるための機器整備 ①大型提示装置(電子黒板)⇒整備台数:300台 ②マイクスピーカー⇒整備台数:28台					
				令和4年度目標	予算額	68,492 千円			
				①学校ICT支援員4名任用 ②タブレット型端末保守契約締結(ヘルプデスク) ③市立小中学校ネットワーク環境保守契約締結					
【点検評価】									
区分	評価の説明						評価凡例		
内部評価	【成果・課題・改善方法】 ・市立小中学校において、高速大容量ネットワーク環境の構築および1人1台端末の整備を行うことができた。 ・ICT環境の整備は、今後、児童生徒の個別最適化学習を行う上での土台となるものであり、学校教育課として進める「自学自習力の育成」と連動しつつ、効果的な活用に向けて取り組んでいく。						S:計画以上 (101%以上) A:計画通り (80~100%) B:ある程度 計画通り (50~79%) C:あまりうまく いっていない (30~49%) D:うまくいって いない (29%以下)		
	外部評価	児童生徒の「個別最適化学習の土台」となる取組であり、事業推進を評価したい。コロナ禍という要因もあり、ICT環境が大きく改善された事は意義深い。 また、細やかな指導計画や対応構想のもとに、利用ルール等様々な力が身に付けられるよう取り組まれていることに安心感を持った。教員の指導力向上を図り、保護者との協力連携のもと効率的な活用を図られるよう取り組んで欲しい。また、集合学習の効率化にも寄与できることを期待したい。							
	A								
	A								

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】					
評価年度	令和4年度(令和3年度事業)	主管課	学校教育課		
事務事業名	石垣市部活動指導員配置事業				
施策体系	主要施策	6 新しい時代を展望した教育行政の充実			
	施策項目	(8) 快適な職場環境の形成と安全衛生管理体制の充実			
【事業概要】					
(1)対象	指導員対象:市民、配置校対象:市立中学校				
(2)目的	・教職員の働き方改革の一環で、部活動指導員を配置することにより、教職員の業務負担軽減を図る。				
(3)目的達成のための手段(事業内容)	・部活動指導員の配置 指導員は、顧問又は副顧問となり、主として部活指導や教職員を伴わず大会等の引率を行う。 ・部活動の地域移行に向けて、部活動の在り方検討委員会を開催する。				
(4)成果目標	・部活動指導員配置人数:5名 ・管理職や顧問等から業務負担軽減を実感する割合:8割 ・石垣市立中学校部活動及びスポーツ少年団あり方検討委員会開催				
(5)根拠法令等	教育支援体制整備事業費補助金交付要綱、石垣市部活動指導員設置要項、石垣市立中学校部活動及びスポーツ少年団あり方検討委員会設置要綱				
【事業実績・目標】					
令和3年度実績	決算額	2,215 千円	令和2年度実績	決算額	1,328 千円
●配置人数:3名/目標:5名		●各学校からのアンケート ①管理職及び顧問等から業務改善に繋がったと実感する。 (実績:8割/目標8割) ②部員から活動意欲が高まったと評価される。 (実績:7割/目標7割)	●配置人数:3名/目標5名		令和4年度目標
●指導員の県大会引率延べ回数:5回			●指導員の県大会引率延べ回数:1回		
●各学校からのアンケート ①管理職及び顧問等から業務改善に繋がったと実感する。 (実績:8割/目標8割) ②部員から活動意欲が高まったと評価される。 (実績:7割/目標7割)			●各学校からのアンケート ①管理職及び顧問等から業務改善に繋がったと実感する。目標6割/実績6割 ②部員から活動意欲が高まったと評価される。目標:6割/実績:7割		3,742 千円
●石垣市立中学校部活動及びスポーツ少年団あり方検討委員会・第1回開催期日:令和3年2月8日 委員数:9名 ・議題:部活動の在り方等、現状課題、部活動の地域移行について		●石垣市立中学校部活動及びスポーツ少年団あり方検討委員会・第1回開催期日:令和3年2月8日 委員数:9名 ・議題:部活動の在り方等、現状課題、部活動の地域移行について		●各学校及び部員からのアンケート ①管理職及び顧問等から業務改善に繋がったと実感される:目標9割以上 ②部員から活動意欲が高まったと評価される:目標8割以上 ●検討会議開催数:1回 (今後の部活動地域移行について)	
【点検評価】					
区分	評価の説明				評価凡例
内部評価	【成果・課題・改善方法】 (成果)部活動指導員の配置により、平日及び土日祝日を含めた部活指導、大会等の引率も基本的に部活動指導員のための活動とし、教職員の業務負担軽減に大きく寄与できた。 (課題)会計年度任用職員として年間雇用のため、任用の対象者が少なく、配置が促進できない。 (改善)教職員の業務負担軽減という観点から非常に有意義な事業であることから、より多くの地域人材が部活動に寄与できるよう会計年度任用職員任用のあり方や部活動の在り方等の検討する。				S:計画以上 (101%以上) A:計画通り (80~100%) B:ある程度 計画通り (50~79%) C:あまりうまく いっていない (30~49%) D:うまくいって いない (29%以下)
	B				
外部評価	教職員の業務負担軽減に大きく寄与できたこと、部員からも活動意欲が高まったとの声が多いことは喜ばしいことである。しかし、会計年度任用職員として年間雇用のため、任用に制約があることから指導員の確保が難しいなど、課題も大きい。 あり方検討委員会において、学校の現状にあった方向性が見出せるよう取り組んでもらうとともに、実際に運用しての制度の改善点を国や県に報告するなど、改善を図ってもらいたい。				
	B				

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】					
評価年度	令和4年度(令和3年度事業)	主管課	学校教育課		
事務事業名	「学ぶ意欲・わかる授業」を支援する事業(沖振交事業)				
施策体系	主要施策	2 自分の良さや可能性を伸ばし未来を切り拓く児童生徒の育成[学校教育の充実]			
	施策項目	(2) 確かな学力の向上			
【事業概要】					
(1)対象	石垣市立小中学校				
(2)目的	学校教育支援員の配置、外国語学習支援員の派遣、また小中学校教諭を対象とした研修会等をとおして、本市児童生徒の学力向上を図る。				
(3)目的達成のための手段(事業内容)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校教育支援員(授業時ならびに放課後学習支援)の配置</li> <li>・外国語学習支援員(英語指導支援)の派遣</li> <li>・学力先進地域から講師を招聘した授業改善研修会(小学校)の実施</li> </ul>				
(4)成果目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・沖縄県学力到達度調査全体平均正答率:小学校60%以上、中学校50%以上</li> <li>・英語に興味・関心を持ったと回答した児童生徒の割合:80%以上</li> </ul>				
(5)根拠法令等	石垣市学校教育支援員設置要項 石垣市立小中学校外国語学習支援員設置要項				
【事業実績・目標】					
令和3年度実績	決算額	111,718 千円	令和2年度実績	決算額	105,591 千円
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市立小学校9校・中学校3校へ学校教育支援員32名配置</li> <li>・市立小中学校へ外国語学習支援員5名を派遣</li> <li>・学校教育支援員オリエンテーションならびに研修会実施</li> <li>・学力向上推進地域より講師を招聘しての研修会については、新型コロナウイルス感染状況を考慮し取りやめた。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・市立小学校9校・中学校3校へ学校教育支援員31名配置</li> <li>・市立小中学校へ外国語学習支援員6名を派遣</li> <li>・学校教育支援員オリエンテーションならびに研修会実施</li> <li>・英語指導力向上研修会を実施</li> <li>・小中外国語担当者研修会及び学力向上推進地域より講師招聘は、新型コロナウイルス感染状況を考慮し中止。</li> </ul>		
			令和4年度目標	予算額	120,323 千円
			※R4年度沖振交後継制度開始にあたり事業を分けて実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒の自律支援事業(予算:104,451千円) ⇒市立小中学校へ子ども自律サポーターを32名配置</li> <li>・外国語学習支援事業(予算:15,872千円) ⇒市立小中学校へ外国語学習支援員5名を派遣</li> </ul>		
【点検評価】					
区分	評価の説明				評価凡例
内部評価	<b>【成果・課題・改善方法】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・沖縄県学力到達度調査では、小学校5学年(国語・算数)、小学校6学年(国語・算数)の平均正答率は51.8%、中学校1学年(国語・数学・英語)・中学校2学年(国語・数学・英語)の正答率は45.4%であった。中学校においては、県の平均正答率との差が減少した。</li> <li>・英語への興味・関心については、4段階評価(A,B,C,D)でA評価が65.4%、B評価が34.6%であり未達成だったが、外国語学習支援員との授業に対する児童生徒の評価は81%であり、外国語学習支援員との授業に興味・関心を持って取り組んでいたことがうかがえる。</li> <li>・R4年度からは、「児童生徒の自律支援事業」で『勇気づけの教育』との相乗効果を図るため自己肯定感向上・自律的学習習慣定着に取り組み、「外国語学習支援事業」で生きた英語に触れさせることで英語に対する興味・関心の向上を引き続き図っていく。</li> </ul>				S:計画以上(101%以上) A:計画通り(80~100%) B:ある程度計画通り(50~79%) C:あまりうまくいっていない(30~49%) D:うまくいっていない(29%以下)
外部評価	県学力到達度からすると子ども達の学力アップは数字から見ることはできるが、残念ながら成果目標に達していない現状である。今後ともしっかり取り組んでもらいたい。引き続き沖振交予算の確保に努めるとともに、研修や講演を実施し、教師や支援員の力量の向上を図るなど、地道な学習支援の取組を進めてもらいたい。				
	B				

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】					
評価年度	令和4年度(令和3年度事業)	主管課	いきいき学び課		
事務事業名	学校・家庭・地域の連携協力推進事業				
施策体系	主要施策	4 家庭・地域の教育機能の充実(社会教育の充実)			
	施策項目	(5)新放課後子ども総合プラン石垣市行動計画の推進、(6)家庭教育支援事業の推進			
【事業概要】					
(1)対象	児童・生徒を始めとする学校地域住民				
(2)目的	学校・家庭・地域が連携して下記事業を行い、「安全安心な居場所づくり」に加え、「多様な学びの場」として、子どもの成長の支えを築く。				
(3)目的達成のための手段(事業内容)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後子ども教室・地域未来塾の実施</li> <li>・家庭教育支援事業の実施</li> <li>・CS(コミュニティー・スクール)導入に向けた取り組み</li> </ul>				
(4)成果目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後子ども教室 20団体実施、地域未来塾 5校実施</li> <li>・家庭教育支援事業(チーム会議3回、親子体験9回、講演会1回、三世代楽級・性教育の委託)</li> </ul>				
(5)根拠法令等	石垣市学校・家庭・地域連携協力推進事業実施要綱、石垣市学校・家庭・地域連携協力推進事業実施要項				
【事業実績・目標】 ※可能な限り、指標の数値化に努めてください。(回、人、件、%など)					
令和3年度実績	決算額	3,571 千円	令和2年度実績	決算額	5,286 千円
<ul style="list-style-type: none"> <li>●放課後子ども教室 12団体実施、地域未来塾 6校実施</li> <li>●家庭教育支援事業                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・チーム会議 3回開催</li> <li>・親子体験 9回実施、保護者対象講演会 1回実施 延べ 176名参加</li> <li>・委託事業(三世代楽級、性教育)実施</li> </ul> </li> <li>●石垣市学校・家庭・地域の連携協力推進事業合同運営委員会 第1回(9/3)、第2回(3/4)開催</li> <li>●CS(コミュニティー・スクール)導入に向けた                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校教育課との連携会議によるモデル校選考等</li> <li>・CSマイスターによる校長研修</li> </ul> </li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●放課後子ども教室 14団体実施、地域未来塾 4校、地域学校協働活動 2校</li> <li>●家庭教育支援事業                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・チーム会議6回開催 ・親子体験4回、講演会5回、研修3回</li> <li>・学び遊び体験広場実施(生涯学習フェスティバルと合同縮小開催)</li> </ul> </li> <li>●石垣市学校・家庭・地域の連携協力推進事業合同運営委員会 第1回(10/14)、第2回(2/24)開催</li> </ul>			
		令和4年度目標	予算額	4,082 千円	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>●放課後子ども教室 21団体実施、地域未来塾 6校実施</li> <li>●家庭教育支援事業 ・家庭教育支援者研修会開催                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・親子体験、講演会等 5回実施 ・事業委託(三世代楽級、性教育) ●石垣市学校・家庭・地域の連携協力推進事業合同運営委員会 2回開催</li> </ul> </li> <li>●CS(コミュニティー・スクール) モデル校選定</li> </ul>			
【点検評価】					
区分	評価の説明				評価凡例
内部評価	<b>【成果・課題・改善方法】</b> <b>(成果)</b> コロナ禍で制限も多いなか、放課後子ども教室12団体実施、地域未来塾6校実施、家庭教育支援事業10回実施延べ176名参加があり、学校・家庭・地域の連携協力推進事業合同運営委員会2回開催の他、学校教育課との連携により、CS導入に向けた「モデル校設置要綱」作成にまで至った。 <b>(課題)</b> 放課後子ども教室において、令和3年度目標数20団体のところ、コロナ禍であったとは言え、12団体にとどまっている。令和4年度から放課後子ども教室における多様な学びに向け、各団体にスマムニ教室の開催を図る等次年度につなげている。 <b>(改善方法)</b> 市広報紙、地元新聞、SNS等の広報媒体を通し、放課後子ども教室や地域未来塾等の意義が伝わるような意欲的な広報・募集を行う。				S: 計画以上 (101%以上) A: 計画通り (80~100%) B: ある程度 計画通り (50~79%) C: あまりうまく いない (30~49%) D: うまくいって いない (29%以下)
	外部評価	地域の現状やコロナ禍の影響を受けながら事業の推進に苦慮されたことが窺い知れる。地域連携は難しい課題ではあるが、地域住民や保護者の理解と協力があったからこそその事業推進であり、自治公民館とも連絡を密にし、モデル地域を複数募り推進してもらいたい。また、支援員の確保に向け事業への理解を深めてもらう工夫や手立てを期待したい。			
	B				
	B				

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】					
評価年度	令和4年度(令和3年度事業)	主管課	いきいき学び課		
事務事業名	不登校対策等支援員配置モデル事業(沖振交事業)				
施策体系	主要施策	3 地域を誇りにした健やかな青少年の育成(青少年の健全育成)			
	施策項目	(4) 不登校対策支援の推進			
【事業概要】					
(1)対象	石垣市立小学校並びに中学校から選定された学校(真喜良小・石垣小学校)に在籍する不登校・登校しぶりの児童生徒				
(2)目的	不登校の未然防止や早期発見・早期対応を図るため、スクールライフサポーター(SLS)を学校に配置。併せて教室に入ることのできない児童生徒に対して、学校内で孤立することがないように居場所づくりなど、学校と協力し必要な支援を実施する。				
(3)目的達成のための手段(事業内容)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不登校児童生徒等の登校支援や家庭訪問、学校内における学習支援及び教育相談</li> <li>・不登校児童生徒及び保護者や教職員等に対する相談、支援、情報の提供</li> <li>・進級、進学等に伴う家庭・小学校・中学校との連携支援</li> <li>・教職員と連携し、校区内における問題行動の早期発見・早期対応</li> <li>・不登校児童生徒等の屋外体験活動や職場体験活動の支援、関係機関・団体等とのネットワーク連携</li> <li>・青少年街頭指導員等との連携による青少年の保護育成及び環境浄化を図るための諸活動</li> </ul>				
(4)成果目標	不登校児童・生徒の学校復帰				
(5)根拠法令等	石垣市不登校対策等支援員配置モデル事業実施要綱				
【事業実績・目標】					
令和3年度実績	決算額	6,669 千円	令和2年度実績	決算額	6,409 千円
【真喜良小】		【真喜良小】●延べ支援児童数183名(欠席30日未満の登校しぶり児童含む。登校支援15名、家庭訪問15名、別室学習支援4名、電話・メール15名その他34名) ●延べ支援回数830回(登校支援159回、家庭訪問344回、別室学習支援86回、電話・メール178回、その他63回) ●不登校率2.42%【不登校者数(8)÷全児童数(328)】			
●長引くコロナ禍の影響もあり、不登校率は市全体平均でも令和2年1.3%から令和3年度2.6%へ増加し、真喜良小でも1.11%から2.42%へ増加		【石垣中】●延べ支援生徒数13名(欠席30日未満の登校しぶり生徒含む。登校支援4名、家庭訪問2名、別室学習支援7名) ●延べ支援回数836回(登校支援41回、家庭訪問119回、別室学習支援616回、その他60回) ●不登校率4.28%【不登校者数(23)÷全生徒数(537)】			
【石垣小】		令和4年度目標	予算額	20,383 千円	
●延べ支援児童数65名(欠席30日未満の登校しぶり児童含む。登校支援7名、家庭訪問7名、別室学習支援11名、電話・メール9名、その他31名)		前年度の検証結果から、SLS配置校のみ成果を挙げても全体として大きな成果に繋げることは困難な状況であることから、中学校区内小学校へのSLS人員を増員し、中学校2校、小学校4校のSLS配置を行っている。配置校における不登校率の減少だけでなく、地域に寄り添える支援を実施し、これにより、「石垣市全体」の不登校率の減少を目指す。			
●延べ支援回数1,818回(登校支援99回、家庭訪問146回、別室学習支援966回、電話・メール183回、その他424回)					
●不登校率2.71%【不登校者数(10)÷全児童数(368)】					
前年度配置した中学校区内の不登校率が高い小学校へSLSを変更配置した。令和3年度から新たにSLS配置により、高い「述べ支援回数」に現れているように、児童や家庭に寄り添った細やかな支援を重ね、保護者や学校から高い評価を得た。					
【点検評価】					
区分	評価の説明				評価凡例
内部評価	【成果・課題・改善方法】				S:計画以上(101%以上) A:計画通り(80~100%) B:ある程度計画通り(50~79%) C:あまりうまくいっていない(30~49%) D:うまくいっていない(29%以下)
	B	【成果】対象児童・生徒並びにその保護者との信頼関係構築による学校・学級復帰の定着 【課題】信頼関係構築に多大な時間を要することもあり、特に長引くコロナ禍で昨年は石垣市全体でも不登校率が増加した。 【改善方法】SLS配置校内での担任始め学校側とSLSとの連携強化、小中学校間での情報共有の強化を図る必要がある。			
外部評価	長引くコロナ禍の影響もあり不登校率が増加したことは残念であるが、SLSの配置変更や、より細やかな支援の努力等取り組みの強化がなされ、対象児童生徒・保護者と支援員との信頼関係が構築されてきたことは喜ばしい。				
	B	必ずしも終着点があると思えない難しい事業で、支援者の身分保障等課題も大きい。不登校児童・生徒や保護者のために、取り組みを強化していただきたい。			

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】					
評価年度	令和4年度(令和3年度事業)	主管課	いきいき学び課		
事務事業名	石垣市平得公民館長寿命化事業				
施策体系	主要施策	4 家庭・地域の社会教育機能の充実[社会教育の充実]			
	施策項目	(2)社会教育施設におけるサークル活動の活性化			
【事業概要】					
(1)対象	石垣市平得公民館				
(2)目的	「石垣市平得公民館施設長寿命化計画」に基づき、10年間にわたる計画的な修繕を実施し、施設利用者の安全性確保と利便性向上を目的としている。				
(3)目的達成のための手段(事業内容)	令和2年度に「石垣市平得公民館施設長寿命化計画」を策定。同計画の10年間修繕計画に基づき、令和3年度においては、一階のひび割れ補修処理を実施。				
(4)成果目標	一階ひび割れ補修処理 予算額1,210千円				
(5)根拠法令等	石垣市公民館設置条例、石垣市公民館設置条例施行規則、石垣市平得公民館施設長寿命化検討委員会設置要綱				
【事業実績・目標】					
令和3年度実績	決算額	1,210 千円	令和2年度実績	決算額	1,138 千円
・一階ひび割れ補修処理 (長寿命化計画令和3年度分)			・石垣市平得公民館 施設個別計画策定業務 委託料 ・石垣市平得公民館 施設個別計画策定業務 現地調査委託料		
			令和4年度目標	予算額	1,239 千円
			・2階ひび割れ補修処理 ・調理室換気扇・ガス器具等更新		
【点検評価】					
区分	評価の説明				評価凡例
内部評価	<b>【成果・課題・改善方法】</b> (成果) 財政課とも協議し、当初計画通りの修繕工事を実施した。 (課題・改善方法) 令和3年度は計画通り行なえたが、引き続き、施設利用者の安全性を最優先しながら財政課と連携した調整を行う。				S: 計画以上 (101%以上) A: 計画通り (80~100%) B: ある程度 計画通り (50~79%) C: あまりうまく いない (30~49%) D: うまくいっていない (29%以下)
	A				
外部評価	築年数を重ねて老朽化もあり、運営管理が難しいと思うが、計画どおりの修繕工事がなされ、地域とのトラブルもなく運営しており評価したい。 唯一の公立公民館であり、利用需要度も高い施設であることから、今後も計画的に修繕工事が進められることを要望する。				
	A				

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】								
評価年度	令和4年度(令和3年度事業)		主管課	文化財課				
事務事業名	平久保のヤエヤマシタン保護増殖事業							
施策体系	主要施策	5 豊かな感性を育む文化の継承と発展[文化の継承・発展]						
	施策項目	(3)指定文化財の維持と管理の充実						
【事業概要】								
(1)対象	国指定文化財「平久保のヤエヤマシタン」指定木2本							
(2)目的	国指定天然記念物「平久保のヤエヤマシタン」指定木2本は、樹齢150年を超えるとも言われる老木であり、近年では台風や害虫被害による樹勢の衰退が著しい状態である。前述のことから、指定木の枯死を防ぐために樹勢回復措置を行う。							
(3)目的達成のための手段(事業内容)	業務委託により、樹木医の診断や害虫対策用薬剤散布、害虫駆除用薬液注入、土壌改良(施肥)等の実施。							
(4)成果目標	指定木の樹勢回復及び害虫の根絶。 指定木周辺のヤエヤマシタン実生株本数や位置の把握。							
(5)根拠法令等	文化財保護法、補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律							
【事業実績・目標】								
令和3年度実績	決算額	3,129 千円		令和2年度実績	決算額	2,361 千円		
<ul style="list-style-type: none"> <li>調査・診断業務委託 樹木医による診断(前年度からの変化等の確認)</li> <li>害虫駆除等業務委託 指定木を害するシタンヒメコバイ、タカサゴシロアリの駆除を目的とした薬剤散布、薬液注入等を実施</li> <li>土壌改良等業務委託 指定木を中心とした円周上に有機質堆肥を投与(実施以後の繁茂期に樹勢回復を確認)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>診断業務委託 樹木医による診断(前年度からの変化等の確認)</li> <li>害虫駆除等業務委託 シタンヒメコバイ(指定害虫)駆除を目的とした薬剤散布</li> <li>土壌改良等業務委託 前年度に引き続き有機質堆肥の投与</li> </ul>			令和4年度目標	予算額	3,336 千円		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>診断業務委託 樹木医による診断(前年度からの変化等の確認)</li> <li>害虫駆除等業務委託 シタンヒメコバイ(指定害虫)駆除を目的とした薬剤散布</li> <li>土壌改良等業務委託 前年度に引き続き有機質堆肥の投与</li> <li>着生植物除去業務委託 指定木に着生したイチジク属植物の除去</li> </ul>							
区分	評価の説明					評価凡例		
内部評価	【成果・課題・改善方法】 指定木の樹勢回復については、一応の成果を得ていることから、施した措置は妥当であったと考えられる。しかし、老木であることから施肥及び害虫対策等の措置は、今後も必要になるものと思われる。また、指定木周辺には百本あまりの後継木が生育しており、自生種として、天然記念物指定への事務手続きを早急に進めていく必要がある。					S:計画以上(101%以上) A:計画通り(80~100%) B:ある程度計画通り(50~79%) C:あまりうまくいっていない(30~49%) D:うまくいっていない(29%以下)		
	外部評価	樹木医による診断、その後の対処により樹勢回復が確認でき、指定木周辺に後継木が多数自生していることは喜ばしいことである。 また、後継木の地区エリアの天然記念物指定にも取り組んでおり評価したい。国指定文化財であり石垣市の財産でもあることから引き続き保全管理を図ってもらいたい。						
	A							

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】							
評価年度	令和4年度(令和3年度事業)		主管課	文化財課			
事務事業名	平得宇部御嶽遺跡発掘調査事業						
施策体系	主要施策	6. 豊かな感性を育む文化の継承と発展[文化の継承・発展]					
	施策項目	(1)文化財の保存と活用					
【事業概要】							
(1)対象	市民						
(2)目的	平得地区内の市道拡幅工事に伴う埋蔵文化財の記録保存を行う。						
(3)目的達成のための手段(事業内容)	発掘調査及び出土資料の整理を行い、報告書としてまとめる。						
(4)成果目標	発掘調査(134.66㎡)、出土資料の整理、報告書の発刊(300部)。						
(5)根拠法令等	文化財保護法						
【事業実績・目標】							
令和3年度実績	決算額	6,762 千円		令和2年度実績	決算額	3,654 千円	
出土資料の整理を行い、『石垣市文化財発掘調査報告書第43号 平得宇部御嶽遺跡－石垣3・5・18号街路改良工事に伴う緊急発掘調査2－』を発刊(300部)。			発掘調査を実施。調査により、土器、陶磁器等の人工遺物や貝類、獣魚骨等の自然遺物が得られたほか、埋葬遺構等が確認された。				
			令和4年度目標	予算額	千円		
【点検評価】							
区分	評価の説明				評価凡例		
内部評価	【成果・課題・改善方法】 発掘調査の成果をまとめた報告書を発刊した。報告書は、市立図書館等の関係機関や市内の小中高校へ寄贈し、市民・児童生徒に対し、本遺跡発掘調査の成果や平得地区の先史・歴史に関する情報を提供することができた。今後は、遺跡発掘調査をはじめ各種文化財調査の成果を、いかに市民の文化財愛護思想の高揚につなげていくか工夫が必要である。				S:計画以上 (101%以上) A:計画通り (80～100%) B:ある程度 計画通り (50～79%) C:あまりうまく いっていない (30～49%) D:うまくいって いない (29%以下)		
	外部評価	きちんと発掘調査がなされ、成果を報告書として発刊し、市民への情報提供が出来た事は評価したい。 今後は、住民や児童生徒が研究資材として成果物を活用できるよう工夫を図ってもらいたい。文化財愛護思想の高揚につなぐ工夫として、地域住民対象に発掘の成果報告会を開催してもらいたい。					
	A						

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】			
評価年度	令和4年度(令和3年度事業)	主管課	市史編集課
事務事業名	「市政のあゆみ(平成版)」編集・発刊事業		
施策体系	主要施策	5 豊かな感性を育む文化の継承と発展[文化の継承・発展]	
	施策項目	(6) 市史等の編集発行及び関係資料の収集と情報提供	
【事業概要】			
(1)対象	市民		
(2)目的	主に平成期の石垣市の行政のあゆみを「市政のあゆみ2(仮称)」として編集・記録し、各分野において今後の参考資料として活用されることを目的とする。		
(3)目的達成のための手段(事業内容)	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料として有用な写真、行政資料等のスキャニング・デジタル化</li> <li>市役所各部署と連携し、原稿執筆及び編集作業を行う</li> </ul>		
(4)成果目標	既刊の「市政のあゆみ」に続くものとして、昭和末期から平成期の石垣市の動静を「市政のあゆみ2」としてまとめ、市民や市役所内各部署での活用に供する。		
(5)根拠法令等	「市政のあゆみ2～平成の記録～」(仮称)刊行委員会設置要綱		
【事業実績・目標】			
令和3年度実績	決算額	666 千円	令和2年度実績
			決算額
			188 千円
<ul style="list-style-type: none"> <li>石垣市撮影写真資料・行政資料等のスキャニング・デジタル化…4,515枚</li> <li>市政のあゆみ2刊行委員会の開催…1回</li> <li>市役所各部署による原稿作成及び編集作業</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>石垣市撮影写真資料・行政資料等のスキャニング・デジタル化…1,627枚</li> <li>市政のあゆみ2刊行委員会の開催…2回</li> <li>市役所各部署による原稿作成及び編集作業</li> </ul>	
		令和4年度目標	予算額
			6,952 千円
		<ul style="list-style-type: none"> <li>石垣市撮影写真資料・行政資料等のスキャニング・デジタル化…2,000枚</li> <li>市政のあゆみ2刊行委員会の開催…2回</li> <li>市役所各部署による原稿作成及び編集作業</li> </ul>	
【点検評価】			
区分	評価の説明		評価凡例
内部評価	<b>【成果・課題・改善方法】</b> 本書を編集する際に参考となる本市作成の行政資料や写真等のデジタル化を行った。資料のデジタル化は、資料保存に資するほか、将来の活用を容易にするものと期待できる。また、本書の編集にあたっては、刊行委員会の開催や各部署作成原稿の編集作業を進めるなど、令和4年度末の刊行に向けて取り組んでいく。		S:計画以上(101%以上) A:計画通り(80~100%) B:ある程度計画通り(50~79%) C:あまりうまくいっていない(30~49%) D:うまくいっていない(29%以下)
	B		
外部評価	平成期の「市政のあゆみ」刊行向けの作業が進められ、資料のデジタル化がなされたことは将来において有効である。 各部署との連携にあたってはご苦労も多いと思うが、本事業は大変重要な事業である。今年度内の刊行に向けてしっかりと取り組んでいただき、分野別にきちんと整理し、意義ある内容にまとめて頂きたい。これからの成熟度に大いに期待したい。		
	B		

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】			
評価年度	令和4年度(令和3年度事業)	主管課	市史編集課
事務事業名	石垣市史 戦後開拓移民編集・発刊事業		
施策体系	主要施策	5 豊かな感性を育む文化の継承と発展[文化の継承・発展]	
	施策項目	(6) 市史等の編集発行及び関係資料の収集と情報提供	
【事業概要】			
(1)対象	市民		
(2)目的	戦後の石垣島北西部を中心に開拓を行った移民の記録を後世に残すため、「石垣市史 戦後開拓移民編」を編集・発刊することを目的とする。		
(3)目的達成のための手段(事業内容)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・石垣市史戦後開拓移民小委員会の開催</li> <li>・石垣市及び沖縄県(琉球政府)行政記録の調査</li> <li>・関係市町村及び関係機関への資料収集・調査</li> <li>・関係者への聞き取り調査</li> </ul>		
(4)成果目標	戦後の石垣島開拓移民に関する記録を後世に残すため、「石垣市史 戦後開拓移民編」を発刊し、市民の活用に供する。		
(5)根拠法令等	石垣市附属機関設置条例 石垣市史編集委員会規則		
【事業実績・目標】			
令和3年度実績	決算額	202 千円	令和2年度実績
			決算額
			174 千円
<ul style="list-style-type: none"> <li>・戦後開拓移民小委員会の開催…2回</li> <li>・関係市町村等への資料収集・調査の実施…北谷町、糸満市、宮古島市、多良間村</li> <li>・市史編集課所蔵の開拓移民関係資料の調査・整理</li> <li>・関係者からの聞き取り調査…2回</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・戦後開拓移民小委員会の開催…2回</li> <li>・関係市町村等への資料収集・調査の実施…名護市、金武町、北中城村、宜野湾市、南城市、八重瀬町</li> <li>・市史編集課所蔵の開拓移民関係資料の調査・整理</li> </ul>	
		令和4年度目標	予算額
			808 千円
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・戦後開拓移民小委員会の開催…2回</li> <li>・関係市町村等への資料収集・調査の実施</li> <li>・市史編集課所蔵の開拓移民関係資料の調査・整理</li> <li>・関係者からの聞き取り調査</li> </ul>	
【点検評価】			
区分	評価の説明		評価凡例
内部評価	<b>【成果・課題・改善方法】</b> 戦後開拓移民小委員会を2回開催、専門員1名を委嘱した。また、県内関係市町村への資料収集、市史所蔵開拓移民関係資料調査、開拓移民関係者からの聞き取り調査を行った。今後も引き続き、資料調査、聞き取り調査を並行して行い、開拓移民編の発刊につなげていきたい。特に、聞き取り調査については、関係者が高齢であり、時間的制約が伴うことから精力的に取り組む必要がある。		S:計画以上 (101%以上) A:計画通り (80~100%) B:ある程度 計画通り (50~79%) C:あまりうまく いない (30~49%) D:うまくいって いない (29%以下)
	A		
外部評価	新たに専門員の委嘱がなされ、多方面からの資料収集や各関係者からの聞き取り調査が行われてきている。 移民関係者の高齢化が進み、戦後開拓移民の一世が少なくなっていく中での調査、編集、発刊は難易度が高いと思うが、精力的にスピード感を持って取り組んで頂き、早めの調査・取りまとめに努力してもらいたい。専門員の知見・能力・技量にあった報酬改善も必要。		
	A		

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】					
評価年度	令和4年度(令和3年度事業)	主管課	博物館		
事務事業名	石垣市八重山博物館収蔵倉庫建設工事事業				
施策体系	主要施策	5 豊かな感性を育む文官の継承と発展〔文化の継承・発展〕			
	施策項目	(8)博物館所蔵資料保存・管理の推進			
【事業概要】					
(1)対象	-				
(2)目的	現収蔵庫の狭隘が課題となっており、収蔵品の適正管理のため、空調設備を備えた新収蔵庫を建設する。				
(3)目的達成のための手段(事業内容)	建築工事・設備工事・外構工事・工事管理				
(4)成果目標	新収蔵庫完成・運用開始				
(5)根拠法令等	-				
【事業実績・目標】					
令和3年度実績	決算額	28,428 千円	令和2年度実績	決算額	2,616 千円
<ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年11月15日請負契約を締結 工期:令和3年11月16日から令和4年3月11日</li> <li>新型コロナウイルス感染症の影響により、資材調達が遅延しているため工期を令和4年5月31日まで延長</li> <li>3月末進捗率:91.02%</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>八重山博物館収蔵庫建設設計業務委託</li> </ul>		
			令和4年度目標	予算額	57,719 千円
			<ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年5月10日完成 建設費 78,727千円 鉄骨造平屋建て 245㎡ 収蔵棚 66台 空調設備4台</li> <li>令和4年9月から収蔵品管理を電子システム管理に移行予定</li> </ul>		
【点検評価】					
区分	評価の説明				評価凡例
内部評価	<b>【成果・課題・改善方法】</b> 当初は年度内完成を目指していたが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、進捗率91.02%であった。 新収蔵庫の完成後は、これまで分散保管されていた収蔵品を分野別、種類別に保管、また、適度な温度、湿度管理を実施し適正な管理が可能となる他、バックヤード見学を実施したい。				S:計画以上 (101%以上) A:計画通り (80~100%) B:ある程度 計画通り (50~79%) C:あまりうまく いっていない (30~49%) D:うまくいって いない (29%以下)
	外部評価	収蔵庫建設にあたって、場所の選定や材質、規模、新博物館建設との兼ね合い、耐用年数等も考慮した事業計画となっており評価したい。収蔵品の適正管理ができることに安心感を持った。			
	A				
	A				

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】					
評価年度	令和4年度(令和3年度事業)		主管課	博物館	
事務事業名	新博物館建設検討有識者会議事業				
施策体系	主要施策	5 豊かな感性を育む文官の継承と発展〔文化の継承・発展〕			
	施策項目	(7)博物館事業の充実			
【事業概要】					
(1)対象	-				
(2)目的	新博物館建設にあたり、望ましい博物館の在り方や博物館像について、専門的な見地から検討するため。				
(3)目的達成のための手段(事業内容)	学識経験者、関係団体、市職員で構成する有識者会議を複数回開催し、提言を取りまとめ市長に報告する。				
(4)成果目標	望ましい博物館の在り方、基本理念、展示のコンセプト等を整理し提言を取りまとめ市長に報告する。				
(5)根拠法令等	(仮称)新石垣市立八重山博物館建設検討有識者会議設置要綱				
【事業実績・目標】					
令和3年度実績	決算額	607 千円	令和2年度実績	決算額	千円
・会議の開催 会議：主な内容 第1回会議:委嘱状交付、提言の論点整理について 第2回会議:基本理念とコンセプトについて 第3回会議:展示理念とコンセプトについて 第4回会議:提言書の整理について					
・市長へ提言書提出 令和3年11月24日 市長室にて提言書手交			令和4年度目標	予算額	千円
【点検評価】					
区分	評価の説明				評価凡例
内部評価	<b>【成果・課題・改善方法】</b> 新型コロナウイルス感染症の影響もあり、会議の開催に苦慮したが、4回の会議で議論を深め、過去に策定された構想や基本計画を整理し、時代の変化に対応した提言書を取りまとめることができた。 新博物館建設の進捗に資する取り組みが出来た。				S:計画以上 (101%以上) A:計画通り (80~100%) B:ある程度 計画通り (50~79%) C:あまりうまく っていない (30~49%) D:うまくい っていない (29%以下)
	外部評価	素晴らしい委員メンバーのもと、議論を成熟させ市長へ提言が成された事は高く評価したい。提言書がまとめられた事で、新博物館建設に向けて一歩進めたかと思う。 本提言書が、今後の「建設実現」の取り組みに生かされることを期待したいが、教育局での取り組みには限界があり、予算提案権は市長専属でもある事から市長部局に本事業を移管した方が推進するのではないか。			

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】						
評価年度	令和4年度(令和3年度事業)		主管課	学校給食センター		
事務事業名	給食会計公会計導入事業					
施策体系	主要施策	6 新しい時代を展望した教育行政の充実				
	施策項目	(8) 快適な職場環境の形成と安全衛生管理体制の整備充実				
【事業概要】						
(1)対象	児童生徒を持つ保護者等					
(2)目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校教職員による給食費の徴収、管理、未納者への督促業務を無くす。</li> <li>学校での現金授受による事件事故の防止と安全性の確保を図る。</li> <li>保護者による給食費支払いの利便性、納付環境の改善を図る。</li> </ul>					
(3)目的達成のための手段(事業内容)	現在、私会計方式にて運営されている学校給食会計について、学校現場での取扱を無くし、市の予算として位置づけ、予算、決算、監査等に市の会計ルールに基づく運用を行うため、公会計制度を導入する。					
(4)成果目標	令和5年4月からの給食費公会計制度を導入し、学校教職員の負担軽減と、事件事故の防止、保護者の給食費納付環境の改善を図る。					
(5)根拠法令等	石垣市学校給食会計公会計導入検討会議設置要綱					
【事業実績・目標】						
令和3年度実績	決算額	0 千円		令和2年度実績	決算額	0 千円
<ul style="list-style-type: none"> <li>部内検討会議開催(1回)</li> <li>県内他市へ、公会計導入への取り組み状況についてアンケート実施</li> <li>単独調理校給食担当教職員との意見交換会開催</li> <li>第2回検討会議開催</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>部内検討会議開催(1回)</li> <li>学校給食会計公会計導入検討会議設置要綱策定</li> <li>第1回検討会議開催</li> <li>学校関係者、保護者への公会計化に関するアンケート実施</li> </ul>			
			令和4年度目標	予算額	4,792 千円	
			<ul style="list-style-type: none"> <li>給食費管理システム開発業者選定、契約</li> <li>校長会や給食担当教職員への説明会、保護者への事前広報</li> <li>給食費納付通知書用封筒や納付書等の印刷。</li> <li>令和5年4月公会計開始に向けて、令和5年度予算に関わる各種経費見積、調整、要求。</li> </ul>			
【点検評価】						
区分	評価の説明					評価凡例
内部評価	<b>【成果・課題・改善方法】</b> (成果) 導入に伴う関係各課との調整や確認事項等が多岐にわたるため教育総務課に移管したが、第1回検討会議で示したスケジュールに沿って概ね進捗している。 (課題) 計画通り実施するには、更に詳細な調整を図る必要があることから、次年度に第3回検討会議を実施し、各委員からの意見も踏まえ、万全な体制で制度導入したい。					S: 計画以上 (101%以上) A: 計画通り (80~100%) B: ある程度計画通り (50~79%) C: あまりうまくいっていない (30~49%) D: うまくいっていない (29%以下)
	外部評価	学校現場の負担軽減の視点からも、公会計の導入は喜ばしい事である。熟度が高く、教育総務課に移管して万全の様だが、今一度不測事態が発生しないよう慎重に進めて欲しい。 現在の給食費納付率90%は保護者の意識高揚や学校現場の担任や担当職員の相当な努力による部分もある。本事業の導入によって、納付率が低下することの無いよう保護者へ十分な説明を図る等万全な取り組みを進めてもらいたい。				

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】										
評価年度	令和4年度(令和3年度事業)		主管課	図書館						
事務事業名	図書館充実費									
施策体系	主要施策	4.家庭・地域の教育機能の充実[社会教育の充実]								
	施策項目	(9)こどもの読書活動への支援・家庭読書の推進 (10)図書館活動の充実								
【事業概要】										
(1)対象	市民									
(2)目的	市民の生涯学習の充実と向上のため、より親しみやすい図書館サービスを目指す。									
(3)目的達成のための手段(事業内容)	年間30回以上の読書案内展示、一般向け・児童向けの広報誌と「広報いしがき」による毎月の広報。毎週の児童対象読み聞かせ会と月1回の乳児対象読み聞かせ会。古文書勉強会や映画観賞会。学校、こども園への団体貸出支援など、読書推進のため地域と連携を図り、きめ細やかな図書館サービスに務める。									
(4)成果目標	乳児からシニアまで、幅広いより多くの市民に、自ら学ぶ生涯学習の場として図書館サービスを利用していただく。									
(5)根拠法令等	図書館法、子どもの読書活動の推進に関する法律									
【事業実績・目標】										
令和3年度実績	決算額	35,659 千円		令和2年度実績	決算額	37,383 千円				
<ul style="list-style-type: none"> <li>蔵書数/291, 367冊(一般書129, 045冊、児童書66, 138冊、郷土書67, 742冊、紙芝居1, 655冊、雑誌22, 116冊、視聴覚資料4, 671点)</li> <li>開館日数/235日(新型コロナウイルス感染予防のため、当初計画より25日減)</li> <li>貸出冊数/208, 791冊(前年度比:約3%増 1日平均約888冊)</li> <li>利用者数44, 799人(前年比:約7%増 1日平均約190人)</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>蔵書数/281, 556冊</li> <li>開館日数/231日(新型コロナウイルス感染予防のため、当初計画より29日減)</li> <li>貸出冊数/202, 015冊(前年度比:約7.5%減 1日平均874冊) 利用者数41, 690人(前年比:約12%減 1日平均180人)</li> </ul>			令和4年度目標		予算額	35,295 千円	
<ul style="list-style-type: none"> <li>※利用者数は実際に図書を貸出した人数。学習室利用、新聞・雑誌の閲覧のみの利用者等はカウントされていません。</li> <li>著書を語る会 2回実施 参加者計約80名(新型コロナウイルス感染予防のため人数制限有)</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>蔵書数/291, 000冊</li> <li>開館日数/269日</li> <li>貸出冊数/229, 000冊(前年度比:約10%増)</li> <li>利用者数49, 300人(前年比:約10%増)</li> </ul>			主な定例行事については、新型コロナ感染拡大傾向が断続的にみられることから、適宜開催していく。				
【点検評価】										
区分	評価の説明				評価凡例					
内部評価	<b>【成果・課題・改善方法】</b> 令和3年度は前年度を上回る感染状況の中、感染予防対策を強化・継続し、市民が安心して図書館を利用しサービスを受けることが出来るよう務めた。そのような対策効果も作用し、前年度とほぼ変わらない開館日数であるにも関わらず、貸出冊数・利用者数ともに僅かではあるが増加した。ウィズコロナを踏まえ今後安全にイベント等を開催し、さらにきめ細やかな図書館サービスを実施することが課題。				S:計画以上(101%以上) A:計画通り(80~100%) B:ある程度計画通り(50~79%) C:あまりうまくいっていない(30~49%) D:うまくいっていない(29%以下)					
	外部評価	コロナ禍の中、窓を開けての換気や室温調整など、図書館内において様々な感染予防対策にしっかり取り組みながら、図書館サービスに努めており評価したい。 また、利用者数、貸出冊数が増加していることは喜ばしく、蔵書数に匹敵する貸出冊数がある事に誇りこそ感じる。今後も新刊本の購入も含め、図書館サービスに努めていただきたい。								
	A									
	A									

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】										
評価年度	令和4年度(令和3年度事業)		主管課	図書館						
事務事業名	ブックモバイル事業									
施策体系	主要施策	4.家庭・地域の教育機能の充実[社会教育の充実]								
	施策項目	(9)こどもの読書活動への支援・家庭読書の推進 (10)図書館活動の充実								
【事業概要】										
(1)対象	市民(主に北西部地区在住の方)									
(2)目的	市立図書館から遠隔地に在住する市民の生涯学習の充実と向上のため、利便性が高く親しみやすい図書館サービスを恒常的に行う。									
(3)目的達成のための手段(事業内容)	移動図書館専用車「こっかあら号」に、約2,500点の書籍・雑誌・CDを搭載し、毎週日曜日に計6カ所の公民館を巡回して、図書館サービスを行う。									
(4)成果目標	居住する場所にかかわらず、生涯学習の機会として、0才から大人まで幅広い多くの市民に移動図書館を介して図書館サービスを利用していただく。									
(5)根拠法令等	図書館法、子どもの読書活動の推進に関する法律									
【事業実績・目標】										
令和3年度実績	決算額	387 千円		令和2年度実績	決算額	333 千円				
・4月から5月16日まで軽ワゴン車(搭載冊数約500冊)による移動図書館サービス第2・4日曜日 明石、川平公民館を巡回。(新型コロナ感染症拡大により5月末から7月迄巡回停止) ・8月から3月まで移動図書館専用車「こっかあら号」(搭載冊数約2,500冊)毎週日曜日、計6カ所(伊野他・明石・平久保公民館、下地・川平・崎枝公民館)を巡回 ・巡回数29回(9回新型コロナウイルス感染拡大、2回台風警報により取りやめ) 貸出冊数2,886冊(前年度比約1.5倍) ・返却数2,443冊(前年度比約1.4倍) ・利用人数518人(前年度比約1.45倍)			・軽ワゴン車で毎月第2・4日曜日 明石公民館、川平公民館それぞれ午前・午後巡回。公民館の協力を得て開催。 ・巡回数18回(新型コロナ感染症拡大の影響により4回中止) 貸出冊数1,888冊 返却数1,699冊 ・利用者数356人			令和4年度目標		予算額	423 千円	
			・サービスポイントを1カ所増(石垣市役所新庁舎)を年度内に予定。更なる移動図書館利用の促進を図る。貸出冊数・利用者数共に令和3年度の1.5倍を目標にする。							
【点検評価】										
区分	評価の説明				評価凡例					
内部評価	<b>【成果・課題・改善方法】</b> 令和3年度8月から2,500冊積載可能な移動図書館専用車を導入。システムサーバーのクラウド化により、リアルタイムで蔵書検索と予約が可能になるなど、利用者一人ひとりのニーズに対応した移動図書館からのサービス提供が可能になった。前年度比貸出冊数約1.6倍、返却冊数約1.4倍、利用者数約1.6倍と伸びており利用が増加してきている。今後サービスポイントを増やすために現地の調整と、職員の人員確保が課題。				S: 計画以上 (101%以上) A: 計画通り (80~100%) B: ある程度 計画通り (50~79%) C: あまりうまく いない (30~49%) D: うまくいって いない (29%以下)					
	A									
外部評価	移動図書館専用車「こっかあら号」の運用が開始され1年が経過したが、システムサーバーのクラウド化により利便性の向上が図られ、よりスムーズなサービス提供ができるようになり、利用者数、貸出数、返却数の増という良い傾向へ繋がっている事は評価したい。今後、巡回地区増への取り組みに向け人員を確保するなど、より充実したサービスの向上に努めてもらいたい。									
	A									

### 3 外部評価委員による総評

新崎洋子

昨年に続き、本市教育事務事業についての外部評価に関わらせていただいた。

石垣市教育委員会では「創造性・国際性に富む人材の育成と生涯学習の推進」という教育目標のもとに諸々の施策を定めている。各課においては、それを踏まえた年度目標を設定し各事業を推進している。

二日間のヒアリングで各課担当者から事業推進状況について詳細な説明を受け、各部署において事業目的の達成に向け、賢明に努めておられることが確認できた。しかし、依然として続くコロナ禍の中、各課の事業推進にもその影響が出ており、ご苦勞が多いことを知ることができた。各担当者、現場スタッフの方々に感謝を申し上げたい。

「新博物館建設検討有識者会議事業」で市長への提言書をまとめ届けられたこと、「石垣市戦後開拓移民編集・発刊事業」では専門員の委嘱、聞き取り調査に着手する等の進捗が見られたのは喜ばしいことである。

国の施策である「教職員の働き方改革」に関連した取り組みも進められている。

「部活動指導員配置事業」や「学校・家庭・地域の連携協力推進事業」においては「地方」であるが故の難しさや、雇用体制の条件等課題もあり、苦慮しておられる。地域の特性や現状を鑑みながらの事業推進という厳しい実情もありながら、目的達成に努力しておられることが理解できた。今後も地域住民や自治公民館との連携等により良い方向性が見いだせるよう取り組んでいただきたい。

「教職員の労働時間軽減」には多くの課題もあると思われるが、児童生徒個々の学年相応の学力を育成するための教材研究の時間確保、丁寧な事業を進めるための準備の時間確保、個々の児童生徒に向き合う時間の確保のためにどの時間を減らすか、であろう。今後も現場の声を聴き、現場に即した取り組みを期待したい。

「給食会計公会計導入事業」も、学校現場の負担軽減の視点からも有り難い取り組みだと思う。現在の給食費納入率が90%だと伺ったが、本事業の導入によって納入率が低下することがないように万全の対策を図っていただきたい。

「GIGAスクール構想事業」は、「児童生徒の個別化学習の土台となる」としての取り組みだという。細やかな指導計画や対応構想のもとに取り組んでいることに安心感を持った。担当教師の指導力向上や家庭との連携等、より効率的な活用が進められ、児童生徒個々の学習能力向上が図られる事を期待したい。また、オンラインの特性が、集合学習にも生かされることも期待したい。

不登校対策支援員や学習支援員の働きかけで救われる児童生徒や保護者は多い。その活動に感謝したい。支援員が安心して働けるよう、身分保障のための予算確保は必至であろう。

学校における「環境整備事業」や「施設大規模改造事業」は、ことに予算や対応業者の確保に苦慮している実情が分かった。新聞報道にもあったが、学校施設の老朽化が進み、「児童生徒の安心・安全な場」とは言えない学校の現状にどのような対応がなされるのか

気になるところである。

事業の推進には予算の確保が必要であることは言わずもがなである。

超党派議員連盟による学校巡回等を行い、必要な箇所に必要な予算が確保できるような協力体制・支援体制も必要ではないだろうか。

ますます厳しい社会状況ではあるが、市長部局・市議会においては予算確保にご尽力いただき、本市教育目標達成に向けての事業がより効果的に取り組めるようにしていただきたい。

教育委員会各課の皆様には、厳しい財政状況の中、ご苦勞も多いが、今後も各事業目的の達成に向けて努めていただきたい。

---

大得英信

教育事務点検評価外部評価委員としての令和4年度の総評を述べるとします。

各事業評価の詳細については、点検評価のまとめに記してありますので、それによりご理解を頂きたいと存じます。

全体としては、各課目標設定に向け努力している事に素直に好評価をするものであり、内部評価と外部評価に大きな差異はなく、概ね順調な行政執行であると思います。

二点ほど提言を申し上げ、外部評価委員の意見とさせていただきます。

一点目は、給食会計公会計導入事業ですが、是非、速急に公会計事業への条例・予算案が議会へ提案され、可決されることを希望致します。

その暁には、学校給食費完全無償（料）化が実現されるよう強く要望するものであります。公会計制度構築が最終目的ではありません。子ども達の健やかな成長は石垣市民の財産でありますから、給食費完全無償化を成し遂げて頂きたい。

議会が条例等を採択したからには、市長が予算提案すればできる事ですから、大いに期待します。画竜点睛を欠くことのない様、行政サイドの努力を要望します。

二点目は、博物館建設事業ですが、これまで博物館基本構想・基本計画と数次に亘って議論がなされ、提言書まで市長に交付されております。

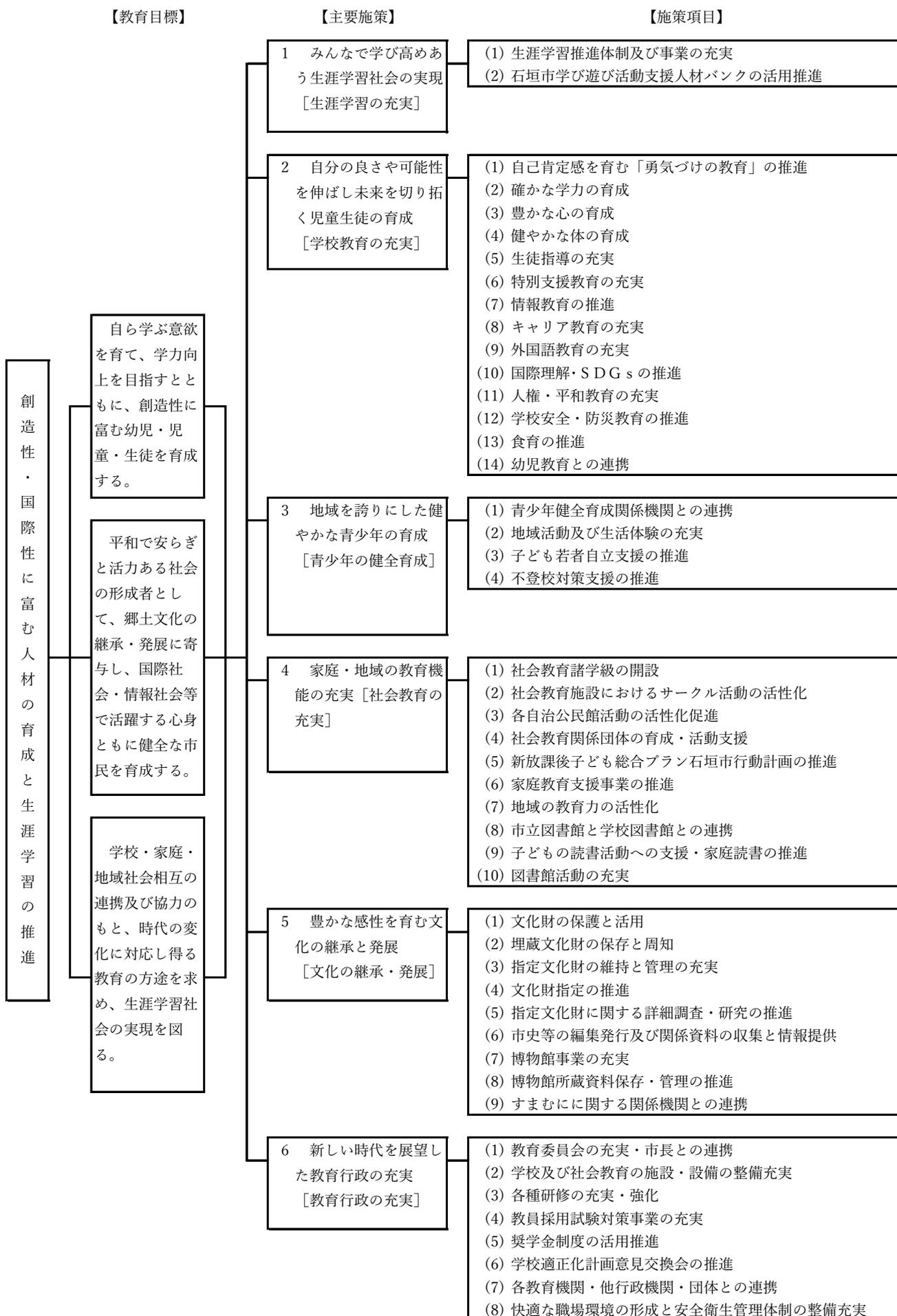
教育委員会サイドの行政事務はほぼ終了しております。予算提案権は市長専権ですので、これから先は市長部局へ事務を移管し、積極的な財政出動の計画を執って頂きたい。その事が、博物館建設が早まる事になると思います。市長の英断をご期待申し上げます。

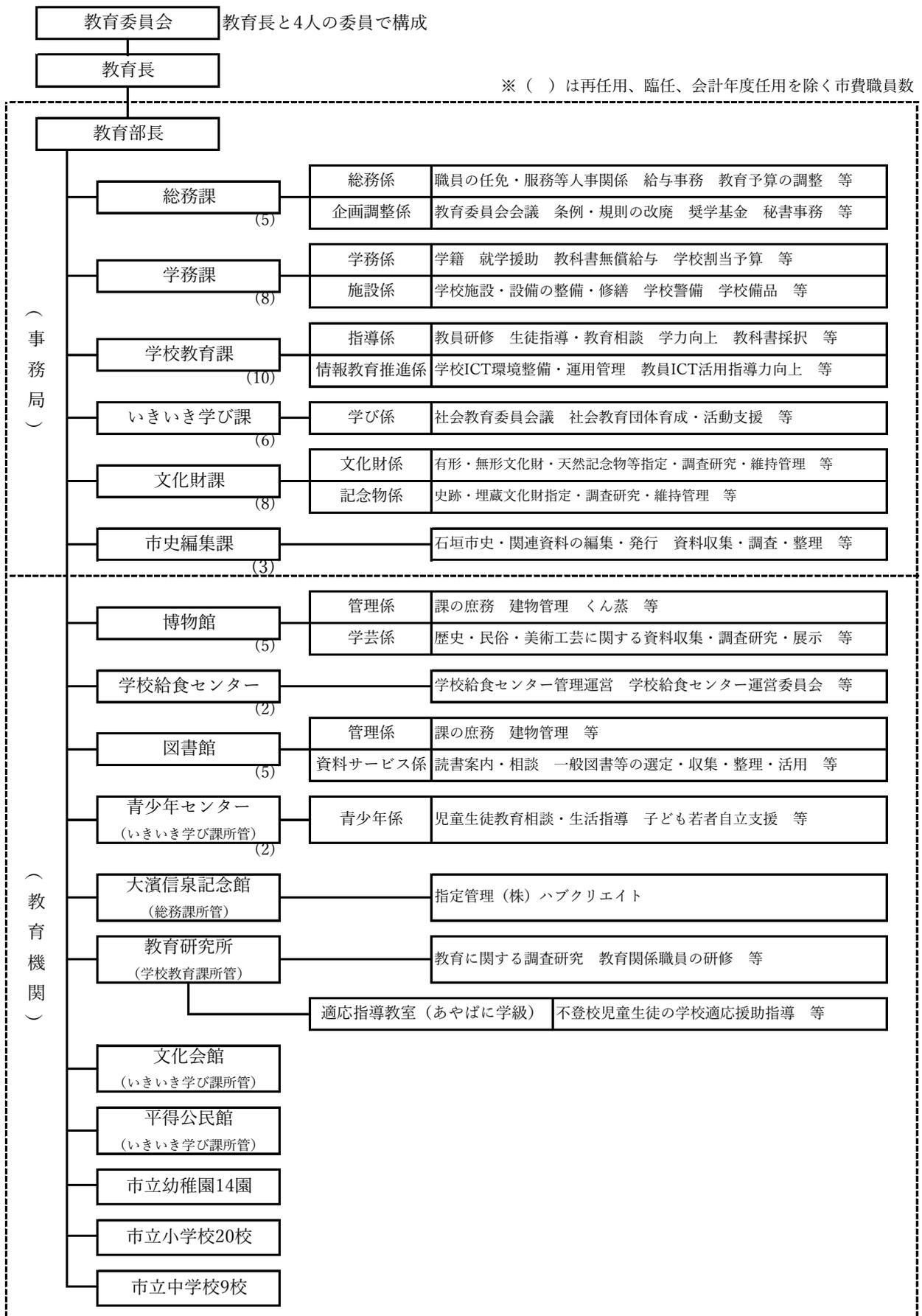
以上二点をご提言申し上げます。

「継続は力」でありますので、行政のたゆまない努力と職員一人ひとりの向上心が市民全体の幸せに直結しますので、頑張ってくださいと思います。

令和4年度の教育事務点検では、職員の努力と頑張りが感じられましたので、引き続き油断する事なく業務に精励する事を大いに期待し総評とします。

令和3年度 石垣市教育委員会教育主要施策体系





(趣旨)

第 1 条 この要綱は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和 31 年法律第 162 号)第 26 条に規定する教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等(以下「教育事務点検評価」という。)を行うことについて必要な事項を定めるものとする。

(教育事務点検評価委員会)

第 2 条 教育事務点検評価は、教育委員会を主体とし、点検及び評価の業務を的確かつ円滑に執行するため、教育事務点検評価委員会(以下「点検評価委員会」という。)を置く。

2 点検評価委員会は、教育部長、石垣市教育委員会事務局組織規則(平成 15 年石垣市教育委員会告示第 10 号)第 5 条に定める事務局の課の長、博物館長、学校給食センター所長及び図書館長をもって構成し、委員長に教育部長、副委員長に総務課長をもって充てる。

3 委員長は、点検評価委員会を代表し、その事務を総理する。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき又は委員長が欠けたときは、その事務を代理する。

5 点検評価委員会の運営その他必要な事項は、委員長が別に定める。

(点検及び評価する事務)

第 3 条 教育事務点検評価で点検及び評価する事務は、教育委員会の権限に属する事務(教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務を含む。)で、前年度に執行されたもののうちから点検評価委員会が抽出した事務とする。

(点検及び評価の時期)

第 4 条 教育事務点検評価は、前年度決算後速やかに実施するものとする。

(点検及び評価の方法)

第 5 条 教育事務点検評価は、第 3 条の規定により抽出した事務を、次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定める組織が行うものとする。

(1) 内部評価 点検評価委員会

(2) 外部評価 教育事務点検評価のために置かれる外部評価委員会

(外部評価委員会の設置)

第 6 条 教育委員会は、事務の点検評価に関し、その客観性の確保を図るため、教育に関し学識経験を有する者の知見を活用するものとする。

2 前項の学識経験を有する者の知見を活用するため、外部評価委員会を設置する。

3 外部評価委員会は、2 人の委員で組織する。

4 外部評価委員は、次に定める者の中から教育委員会が委嘱する。

(1) 学識経験者

(2) その他教育委員会が必要と認めた者

5 外部評価委員の任期は、委嘱の日から委嘱の日の属する年度の末日までとする。ただし、再任を妨げない。

6 外部評価委員の報酬は、石垣市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例(昭和47年石垣市条例第70号)別表に掲げる法又は条例による審議会等の委員に委嘱された者の報酬額に準じるものとする。

(報告書の作成)

第7条 教育事務点検評価の結果に関する報告書(以下「報告書」という。)は、点検評価委員会が作成し、前条に規定する外部評価委員会の意見を付して、教育長が教育委員会に付議するものとする。

(報告書の提出及び公表)

第8条 報告書の議会への提出は、12月定例会に行うものとする。

2 報告書は、前項の提出を行った後、速やかに石垣市のインターネットホームページで公表するものとする。

(結果の活用)

第9条 教育事務点検評価の結果は、教育行政の計画立案、事務の改善、効率化等に活用するものとする。

(その他)

第10条 この要綱に定めるもののほか、教育事務点検評価の業務に必要な事項は、教育長が別に定める。

附 則

この要綱は、公布の日から施行する。

附 則(平成22年教委告示第10号)

この要綱は、公布の日から施行する。

附 則(平成25年教委告示第3号)

この要綱は、平成25年4月1日から施行する。

附 則(平成26年教委告示第18号)

この要綱は、公布の日から施行する。

附 則(平成27年教委告示第5号)

この要綱は、平成27年4月1日から施行する。

附 則(平成28年教委告示第20号)

この要綱は、公布の日から施行する。



令和4年度  
石垣市教育事務点検評価報告書  
(令和3年度事業対象)

---

令和4年11月発行  
石垣市教育委員会  
沖縄県石垣市字真栄里672番地  
TEL 0980-82-2604  
FAX 0980-82-0294

---